

○事業所名	富士市立こども発達センターみはら園			
○保護者評価実施期間	令和7年11月19日		～	令和7年11月面談日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		～	令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月4日		～	令和7年11月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で連携して支援をしている。	ST,OT等と保育士が連携して訪問し、それぞれの専門性を活かして助言している。	子どもや保護者からの申し入れや相談についても、多職種で対応し様々な視点から相談に応じていく。
2	みはら園から移行した園児を、保育所等訪問支援で引き続き支援している。	みはら園で行っていた支援について移行先の園でもできるように、園の意向を聞きながら助言している。	子どもや保護者にとってより良い支援ができるように、園とのコミュニケーションを密にし、一緒に支援方法を考えていきます。また、就学に向けての取り組みについても相談に応じていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援が福祉サービスであるということが十分に周知できていない。	利用者数が少なく、訪問支援を受けたことがない園が多く、定期的に訪問する園訪問との違いについて、十分に認識されていない。	保護者との契約に基づく福祉サービスであるということを、保育幼稚園課や園に丁寧に説明をしていき、利用希望者の相談に応じていく。
2			